

2010年度

科目名	美術史学実習 I		
担当教員	吉原 忠雄		
配当	文財2	コード	54500
開期	前期	講時	金曜日4限
		単位数	1
授業テーマ	美術史学専攻希望学生が美術作品の鑑賞方法と調査方法を習得する。		
目的と概要	授業や美術作品鑑賞を通じて美術作品に関する情報収集を行い、現場で実物資料の扱いとフィールド・ノート の作成を行うことによって、美術作品に対する理解を深める。授業のほか、学外実習として、博物館の特別展 観覧・寺院の仏像拝観を数回行い、美術工芸品調査あるいは修理事業所見学を実施する。		
成績評価法	平常点(60%)、レポート(40%)により評価する。		
テキスト			
参考書			
履修に 当たっての 注意・助言	博物館の展覧会観覧や美術工芸品調査あるいは修理事業所見学に全回参加しない者は、履修を認めない。 また、調査・見学は人数に制限がある場合があるので、美術の卒論作成予定者を優先する。学外は交通費・昼 食代などは実費が必要。調査あるいは見学は土曜日に実施するので、当日不都合な者は履修に適さない。各 授業は予定であり、変更がある場合があるので、共同研究室の掲示に注意すること。		
講義計画			
(1) 学内	イ見学会の予習 ロ調査の基礎練習 用具の準備 資料の扱い方 記録のとり方 法量の測り方 撮影の仕方		
(2) 学外	イ調査 土曜日に実施 5人×3日(1日のみ参加・人数に変更のある場合がある) 和泉市内寺院あるいは河内長野市内集会所 ロ修理所見学 土曜日に実施 人数制限は未定 京都、滋賀あるいは奈良 ハ観覧・拝観 土曜日に実施 i 京都国立博物館・三十三間堂(1日分) ii 奈良国立博物館・東大寺(1日分)		